

<情報解禁日 2018年2月22日(木) 午前10時>

奇跡の共演！ 佐渡裕指揮のもと全ての演奏者と映画の登場人物が  
一体となる渾身の「ウエスト・サイド物語」。  
映画全編映像に合わせてフルオーケストラ生演奏！

バーンスタイン生誕 100 周年記念

## 佐渡裕指揮 「ウエスト・サイド物語」 シネマティック・フルオーケストラ・コンサート



英語上映・日本語字幕あり /開演約 10 分前に佐渡裕オープニングトークあり

2018年 8月4日(土) 12時・18時開演  
8月5日(日) 12時開演  
東京国際フォーラム・ホールA

公式HP：[westsidestory-concert.jp](http://westsidestory-concert.jp)

主催：フジテレビジョン/キョードー東京 後援：アメリカ大使館

©Takashi Iijima /West Side Story ©1961 Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. All Rights Reserved. ©A.M.P.A.S.

# 恩師バーンスタインに捧ぐ、 佐渡裕の「ウエスト・サイド物語」

「ウエスト・サイド 物語シネマティック・フルオーケストラ・コンサート」は、舞台上の大スクリーンで映画全編を上映し、目の前でフルオーケストラの生演奏を合わせるシンクロライブ。

1961年に誕生したアカデミー賞10部門受賞の完璧なパッケージ（映画）の感動と、現代に生きるミュージシャンたち（オーケストラ）がその瞬間に音楽を創り上げる感動が共存する。

オーケストラ音は削除され、効果音と台詞、歌声だけ残した映像、例えば、冒頭のフィンガースナップ、トニーやマリアの歌、ジェット団シャーク団の体育館のダンスなどのシーンに、指揮者は耳に入るクリック音を頼りに約100名のオーケストラの演奏をぴったりと合わせなければならない。

「トゥナイト」「マリア」「サムホエア」「アメリカ」「マンボ」「クール」「ワンハンド・ワンハート」「クインテッド」など名曲の数々、そして「エンドクレジット」までもがノーカットで、映画に合わせて演奏され、再構築されていく。映像は待ってくれないから、少しの狂いも許されない、実に「音楽を扱う職人たちが」繰り広げるスリリングなコンサートだ。

この緊張感溢れるコンサートの指揮を担うバーンスタインの最後の愛弟子、佐渡裕は、「『ウエスト・サイド物語』の音楽に魅かれる理由は、複雑な構成の中での奥深さだ」と言う。

決して聴きやすいだけではない、頭と心に残る音楽。「シネマティック・フルオーケストラ・コンサート」だからこそ、天才バーンスタインを真に感じ取ることができるはずだ。

## <佐渡裕メッセージ>

私がバーンスタインに初めて会ったのは26歳の時、その後彼の晩年に3年ほど師事しました。彼の指揮姿を見ていなかったら今の自分はなかったと思います。

バーンスタインに色々な出会いやチャンス頂きましたが、今年の1月には生誕100年を記念して彼の交響曲を指揮するためにアメリカデビュー（56歳にして）も果たしました。

"バーンスタイン生誕100周年"は、僕の中では「彼への恩返し」をする時という強い思いがある。彼に出会うことができた一人として、彼の作品の素晴らしさ、音楽の面白さを今こそ、そして生涯伝えていきたいと思っています。

「シネマティック・フルオーケストラ・コンサート」は私にとっても本当に難しい技術を求められ、一時も気を緩められない公演です。けれど皆さんは、難しいことは考えず、観て、聴いて、感じてもらえればいいと思う。当時のアメリカの天才たちが集まって作った傑作を、五感全部を使って堪能してください。



# <プログラム>

映画『ウエスト・サイド物語』（1961年）

ミリッシュ・ピクチャーズ製作

ロバート・ワイズ作品

主演：ナタリー・ウッド

リチャード・ベイマー / ラス・タンブリン/リタ・モレノ / ジョージ・チャキリス

監督：ロバート・ワイズ / ジェローム・ロビンス

脚本：アーネスト・リーマン

アソシエイト・プロデューサー：ソウル・チャップリン

振付：ジェローム・ロビンス

音楽：レナード・バーンスタイン

作詞：スティーヴン・ソンドハイム

ロバート・E・グリフィス /ハロルド・S・プリンス製作

アーサー・ローレンツ脚本 ジェローム・ロビンス原案・演出・振付の舞台に基づく

アカデミー賞10部門受賞（作品賞、助演女優賞、助演男優賞、監督賞、編集賞、撮影賞、美術賞、衣裳デザイン賞、録音賞、ミュージカル映画音楽賞）

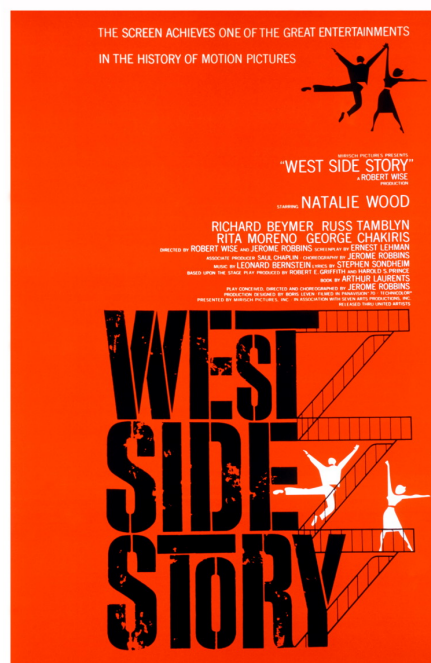
## < 1 部 >

1. OVERTURE 序曲
2. PROLOGUE プロローグ
3. JETS SONG ジェット・ソング
4. SOMETHING'S COMING 何かが起こりそう
5. DANCE AT THE GYM 体育館でのダンスパーティー
- 5A. BLUES ブルース
- 5B. PROMENADE プロムナード
- 5C. MAMBO マンボ
- 5D. CHA-CHA チャチャ
- 5E. MEETING SCENE 出会いのシーン
- 5F. JUMP ジャンプ
6. MARIA マリア
7. AMERICA アメリカ
8. BALCONY SCENE バルコニーシーン
9. GEE, OFFICER KRUPKE クラブキ巡査への悪口
10. COAT OVER SHOULDER ジャケットを肩に掛けるトニー

<休憩 20分>

## < 2 部 >

11. I FEEL PRETTY アイ・フィール・プリティ
12. ONE HAND, ONE HEART ワンハンド・ワンハート
13. TONIGHT トゥナイト
14. THE RUMBLE 決闘
15. ROOFTOP ルーフトップ
16. HE KILLED YOUR BROTHER 彼が兄さんを殺した
17. KILLER, KILLER 人殺し！
18. SOMEWHERE サムホエア
19. A-RAB SHADOWS ママ
20. COOL クール
21. THANKS, DADDY-O ありがとう、兄貴
22. A BOY LIKE THAT AND I HAVE LOVE あんな男に～私は愛している
23. TAUNTING SCENE あざけりの場面
24. FINALE フィナーレ
25. END TITLE エンド・タイトル



## <クリエイター&出演者>

音楽：レナード・バーンスタイン（1918～1990年）



アメリカ生まれのユダヤ系移民二世。作曲家、指揮者、教育者。カラヤンと並び、世界的評価を受けた20世紀クラシック界の巨匠。ハーヴァード大学で理論と作曲を学び、カーティス音楽院ではフリッツ・ライナーに師事する。1943年、セルゲイ・クーセヴィツキーに認められ、ニューヨーク・フィルの副指揮者に就任。同年にブルーノ・ワルターの代役としてデビューし、大成功を収めた。1958年から1969年まで同フィルの音楽監督をつとめ、退任後はウィーン・フィルをはじめ、数多くのオーケストラの客演指揮者として名演を重ね、世界中に感動を巻き起こした。また、クラシック界のみならず、ミュージカルでも「ウエスト・サイド物語」（1957）ほか不朽の名作を残すなど、作曲家としても幅広く活躍し、その作品は今も多くの人々に影響を与え続けている（『バーンスタイン わが音楽的人生』より）  
代表作：ブロードウェイ作品：「オン・ザ・タウン」（1944）「ワンダフル・タウン」（1953）「キャンディード」（1956）「ウエスト・サイド物語」（1957）

コンサート楽曲：交響曲第1番「エレミア」（1944）第2番「不安の時代」（1949）「ヴァイオリン、弦楽合奏、ハープと打楽器のためのセレナード」（1954）『ウエスト・サイド物語』よりシンフォニック・ダンス」（1960）「チチェスター詩篇」（1965）「ミサ」（1971）「ソングフェスト」（1977）「オーケストラのためのディヴェルティメント」（1980）「ハリル」（1981）「タッチズ」（1981）「13アニバーサリーズ」（1988）「ミサ・ブレヴィス」（1988）「ジュビリー・ゲームス」（1989）「アリアと舟歌」（1989）など。

オペラ：1幕「タヒチ島の騒動」（1952）3幕「静かな場所」（1983）

バレエ：「ファンシー・フリー」（1944）「ファクシミリ」（1946）「ディバック」など。

映画：「波止場」（1954）でアカデミー賞作曲賞にノミネート。

指揮：佐渡裕 © Takashi Iijima



京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。1995年第1回レナード・バーンスタイン・エルサレム国際指揮者コンクール優勝。

これまでにパリ管弦楽団、フランス国立管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルン放送交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、バイエルン国立劇場管弦楽団、北ドイツ放送交響楽団、ロンドン交響楽団、BBCフィルハーモニック、ローマ・サンタチェチーリア国立アカデミー管弦楽団等欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。2015

年9月より、オーストリアを代表し110年の歴史を持つトーンクンストラ管弦楽団音楽監督に就任。現在は欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。

オペラ公演でも海外での実績を重ねており、2003年<エクサンプロヴァンス音楽祭>「椿姫」（演奏：パリ管弦楽団）、2007年<オランジュ音楽祭>「蝶々夫人」（演奏：スイス・ロマンダ管弦楽団）、トリノ王立歌劇場の2010年「ピーター・グライムズ」、12年「カルメン」、15年「フィガロの結婚」などがある。

国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラの首席指揮者を務める。CDリリースは多数あり、最新盤はトーンクンストラ管弦楽団を指揮した「バーンスタイン・トリビュート」、「ブルックナー交響曲第9番」を2017年秋に連続リリース。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」

(新潮文庫)、「僕が大人になったら」(PHP文庫)、「棒を振る人生～指揮者は時間を彫刻する～」(PHP新書/PHP文庫)など。

オフィシャルファンサイト：<http://yutaka-sado.meetsfan.jp>

## 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団



1911年創立。日本最古の歴史をもつオーケストラ。メンバー約130名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。自主公演の他、新国立劇場他でのオペラ・バレエ演奏、NHK他での放送演奏など、高水準の演奏活動を展開。海外公演も積極的に行い、国内外から高い注目を集める。1989年からBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。

東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

公式ウェブサイト <http://www.tpo.or.jp/>

公式フェイスブック <https://www.facebook.com/TokyoPhilharmonic>

公式ツイッター <https://twitter.com/tpo1911>

### 【公演概要】

公演タイトル：

バーンスタイン生誕 100 周年記念

佐渡裕指揮「ウエスト・サイド物語」シネマティック・フルオーケストラ・コンサート

指揮：佐渡裕 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団

英語上映・日本語字幕あり/開演約 10 分前に佐渡裕のオープニングトークあり

先着先行販売は、3月6日(火) お昼 12 時から開始 詳しくは公式 HP にて

公式ホームページ：<http://westsidestory-concert.jp>

公演日時：2018年8月4日(土) 12時開演/18時開演 ・8月5日(日) 12時開演

会場：東京国際フォーラム・ホール A (有楽町)

チケット料金：

S席 11,500円 A席 9,500円 B席 7,500円 M席 11,000円

\*M席はスクリーンの下部が一部見えない席となります

\*未就学時のご入場はできません。

\*上演時間：約3時間(休憩1回含む)

\*開場は各開演時間の1時間前

\*車椅子でご来場のお客様はS席をご購入いただき、お問い合わせ先キョードー東京までお電話でご連絡ください。

\*一般発売日：2018年4月22日(日) 10AM

お問い合わせ：キョードー東京 0570-550-799 (平日 11時～18時・土日祝 10時～18時)

団体販売>キョードー東京グループ観劇係 (10名以上) 上記電話番号へお電話ください。

主催：フジテレビジョン/キョードー東京 後援：アメリカ大使館

チケット販売所：

キョードー東京、イープラス、ぴあ、ローソン、楽天、CN、セブンチケット 他



West Side Story as seen at The Royal Albert Hall, London / All photos (C) Christie Goodwin

＜ウエスト・サイド物語シネマティック・フルオーケストラ・コンサートができるまで＞  
[スティーヴン・スミス]

エミー賞にもノミネートされたドキュメンタリー・プロデューサー、ジャーナリスト。

国境を越えて愛され続けるミュージカル「ウエスト・サイド物語」は、

"ニューヨーク"を舞台にした作品のうち、世界で最も有名な物語の一つだろう。

ギャングに牛耳られたマンハッタンのアッパー・ウエスト・サイドを、実に生々しく描いている。だがこの作品のブロードウェイ、そしてその後の映画への道のりが全く別の街から始まっていたことを、皆さんはご存知だろうか？

1955年の夏、36歳の作曲家レナード・バーンスタインは、ハリウッドボウルで指揮をするためにロサンゼルスにやってきた。その年の8月、脚本家アーサー・ローレンツとバーンスタインのビバリーヒルズ・ホテルでの再会が、行き詰まっていた共同製作中のミュージカルの企画を蘇らせる一。

遡ること7年前、始まりは振付家・演出家ジェローム・ロビンスからバーンスタインへのアプローチだった。バーンスタインの日記にその時のことが記されている。

「素晴らしい提案を受けた。イースターの過越祭のスラム街を舞台にした、現代版『ロミオとジュリエット』。ユダヤ人とカトリック教徒の間の高い壁・・・路上の喧嘩、二人の死――まさに組みたいテーマ。」だがそのアイデアは1955年、ロサンゼルス滞在中のバーンスタインとローレンツが、ラテン系ギャング問題に関する新聞記事を目にする日まで眠っていたのだった。バーンスタインの脳裏に浮かんだラテンアメリカ風の楽曲は、彼の創作意欲を奮い立たせた。そして、当時25歳の作曲家スティーヴン・ソンドハイムが作詞の身を提供する契約に渋々合意した時、作品は動き始める。

幾度に及ぶ改訂と資金集めの末、1957年にブロードウェイで開幕したミュージカル「ウエスト・サイド物語」は、様々な反響を呼び起こした。熱狂的な賞賛を贈るものがある一方で、啞然として出て行く者もいた。後者の原因となったのは、ギャングの武力衝突や偏見の描写。退場者の数は、ブロードウェイでは前例がないほどだったという。その年のトニー賞で「ウエスト・サイド物語」は相手にされず、より親しみやすい「ザ・ミュージックマン」が受賞した。

だが、ニューヨークと爆発的なヒットを記録したロンドンの観客たちの反応は素早かった。

登場人物の個性を見事に表した情熱的なロビンスの振付、ローレンツによるシェイクスピアの独創的な翻案、＜トゥナイト＞や＜マリア＞をはじめとするソンドハイムの詞に彩られた、バーンスタインのゾクゾクするような楽曲のもつ革新性にすぐに気づいたのだ。ロビンスはロバート・ワイズと共に映画版「ウエスト・サイド物語」（ユナイテッド・アーティスツ配給）で監督を務めることとなる。人気スタ

一、ナタリー・ウッドとリチャード・ベイマーを主演に迎えて1961年に公開された作品は、批評家、観客からの絶大な支持を得て、興行的にも大成功を収めた。

映画に出演したジョージ・チャキリス（ベルナルド役）とリタ・モレノ（アニタ役）は、アカデミー賞で最優秀助演男優賞と助演女優賞をそれぞれ受賞。その他、美術監督・装置賞、撮影賞、舞台版に続いて映画版にも参加したアイリーン・シャラフへの衣裳デザイン賞、編集賞、ミュージカル映画音楽賞、録音賞、ロビンスとワイズへの監督賞（同部門で2名で同時受賞するのは初めてのこと）、そして作品賞の計10部門を制した。さらにロビンスは映画における振付の功績を評価され、アカデミー賞名誉賞も同時受賞している。

今回の「ウエスト・サイド物語」シネマティック・フルオーケストラ・コンサートもまた、革新的な試みだ。MGMは、1961年以来見られなかった細部をもクリアに再現した、HDリマスター映像を制作。そして、パリに拠点を置くオーディオナミックス社と、音響復元技術の王手チェイス・オーディオ社（デラックス社傘下）によって開発された新しい音響技術が、統合されたサウンドトラックから一つひとつの音源を分離することに成功した。オーディオナミックス社は歌、台詞、効果音をトラックに残しながら、オーケストラの演奏部分のみを機械に認識させ、分離させる新技術を開発。これによって本公演では、映画の音源である歌に合わせてオーケストラが生演奏を行うことが可能になったのだ。

映画製作時の演奏で使われたオリジナルの編曲資料は全てなくなってしまっていたが、レナード・バーンスタイン事務所のエレノア・サンドレスキーによる14か月に及ぶ調査の結果、アメリカ中の図書館のアーカイブや個人のコレクションの中に宝物ともいべき資料が数多く見つかった。また、映画版の編曲を担当したシド・ラミン、指揮者・音楽監督のジョニー・グリーン、監督のロバート・ワイズ、プロデューサーのウォルター・ミリッシュの個人所蔵アーカイブからも数々の資料が発見され、サンドレスキーは映画版の全スコアを完成させるのに必要な素材の端々を揃えることができた。

本公演の生演奏用にオーケストレーションを復元・再構築したのは、バーンスタイン事務所のシニア・ミュージック・エディターであるガス・エドウィン・サンダーランドだ。貴重な資料を編纂した彼はこの時、1961年のブロードウェイ版スコアに最終段階での改訂が加えられ新しく生まれ変わった映画音楽が完成するまでの過程を発見することにもなった。

これらすべての結晶として出来上がったのが、「ウエスト・サイド物語」の歴史に新たな1ページを刻むであろう「ウエスト・サイド物語」シネマティック・フルオーケストラ・コンサートなのである。まさにアメリカ音楽とハリウッド映画の粋を極めた、堂々たる作品の完成と言えるだろう。

## <新しいオーケストレーションと譜面の創作>

[ガス・エドウィン・サンダーランド]

レナード・バーンスタイン事務所のシニア・ミュージック・エディター「ウエスト・サイド物語 シネマティック・フルオーケストラ・コンサート」では音楽スーパーバイザーと編曲を務めている。

**「ウエスト・サイド物語」—それはブロードウェイで誕生した、最も洗練されたオーケストラ音楽である。**

バーンスタインは指揮者・作曲家として培ってきた全てを、この楽曲の随所に散りばめた。稀に見る緻密さを備え、非常に複雑で、それでいて聴衆を惹き付けて離さない澄み切った明瞭さを持つ、まさに恐るべきスコアと言えよう。

舞台「ウエスト・サイド物語」の映画化が決定した時、指揮者としての仕事で多忙を極めていたバーンスタインは、シド・ラミンとアーウィン・コスタルに舞台版スコアを映画向けに編曲する作業を託す。彼らは舞台版同様、28人編成のオーケストラを念頭に置いて編曲を手がけたが、MGMの巨大なレコーディングスタジオという恵まれた環境ゆえ、時には100人近い大規模なオーケストラ編成で収録に臨んだこともあった。ある時など、サクソフォン6本にトランペット8本、特に迫力が必要なパートではシロフォン5台とピアノ5台を使ったこともあったというから驚きだ。

この「ウエスト・サイド物語 シネマティック・フルオーケストラ・コンサート」に向けて、映画版の編曲を生演奏用に再構築する際の課題 ―それは、バーンスタインによる舞台版のオリジナル編曲とそれを超える大作となった映画版の編曲とのバランスをどう取るかにあった。

これは音楽的な観点と演奏時の物理的な観点、両方での課題だった。まず音楽面で言えば、収録音源は必要に応じていかようにもミキシングしたり調整を加えたりすることができるという点。例えば、トランペット8本のワイルドな音色を、ささめくような静かな響きに抑えることもできるし、もの憂げなフルートのソロを大音量で轟かせることも可能だ。ところが生演奏の場合は、ミュージシャンたちが響かせる音色がそのまま聴衆に届く。当然ながら後処理を加えることはできないのだ。さらに現実的な話として、たった30秒の出番のためにピアノ5台を用意するのは賢明とは思えないし、言うまでもなく、舞台上にピアノ5台分ものスペースを確保できるはずもなかった。

そこでまず、私は舞台版のオリジナルスコアに立ち戻り、その譜面に映画用のアレンジとして施された変更を反映していくことにした。例えば、〈プロローグ〉のあちこちに加えられた計5分間の追加箇所を反映したり、映画用に書き下ろされた背景音楽や場面転換のきっかけ音をスコアに落とし込んだり〈クール〉や〈クラブキ巡査〉に代表される曲順の変更に合わせてスコアを組み替える、といった作業である。

映画上映とシンクロさせた生演奏を行うにあたり、どういった音楽表現が効果的に聴こえるだろうか。それを見極めるため、私は舞台版と映画版両方の編曲をつぶさに研究した。どちらか一方のスコアをそのまま用いるのがベストな選択であることもあったが、大抵は両方の特徴を救いあげた新しいスコアを作りなおさなければならないことがほとんどで、これは相当の創造性と根気の要する作業だった。例えば先述したシロフォン5台とピアノ5台のパートはわずか30秒のシーンだが、それをシロフォン3台とピアノ1台の演奏でも十分満足できるまでに書き直すには、数週間もの時間がかかった。さらなる難題は、映画版のダンスシーンなどで演奏される打楽器のきっかけ音の多くが、実は収録時の即興によるものだったことだ。〈マンボ〉のトランペットソロも然りで、私はサウンドトラックから聴き取って書きおこす作業をせねばならなかった。そもそも、1961年の映画版のフルスコアはこれまでに一度も見つかっておらず、存在したはずのパート譜は紛失してしまっていた。

完全な形で見つかった映画版の楽譜資料は、指揮者用のショートスコア（40段近いフルスコアを3〜4段のパートにまとめた簡易スコア）のみ。フルスコアを再構築する際に極めて重要な情報を省きに省いて形になったのがショートスコアなのだから、その譜面をもとにフルスコアを作り直すのが甚だしく厄介なのは当然といえば当然なのだ。

スコアの再構築を仕上げた後に続くのは、新たに完成した譜面と映画版のサウンドトラックアルバムとの照合作業だ。映画版の音源には映像編集者の手で数々のカットや微調整が加えられており、そうした細やかな変更は残された楽譜資料には反映されていなかった。こうしたディテールをも譜面に反映する必要があったのだ。まるで深い森のように複雑な音楽の中から、カットされた0.25秒分の音や合間に差し込まれた1小節分を見つけ出したり、生演奏では不可能なフェイドアウトの表現方法を見出したり、フェイドアウト/インでオーバーラップしている部分をどう処理すべきか考えたり・・・このような微細にわたる作業が不可欠だった。

最後に残された作業は、映画とシンクロして生演奏する際に指揮者が必要とする情報を、正確にスコアに落とし込むこと。

それには幾つかのシステムを用いることになった。まず、指揮者とミュージシャンがヘッドホンを通じて、劇中のそれぞれのキーポイントで映画のテンポを示すきっかけ音を聞き取れるように設定した。さらには指揮者用のビデオモニター画面上で、曲の導入部や終わり、テンポの上げ下げ、先述のきっかけ音が入るタイミングなどを知らせるカラーバーを表示したり、そうした表示がより見やすいフラッシュライト機能を付加したりもした。本公演におけるこれらのシステムは、映画音楽史学者としても知られ、2011年6月にハリウッドボウルにて初演された「ウエスト・サイド物語 シネマティック・フルオーケストラ・コンサート」にてロサンゼルス・フィルハーモニックを率いた指揮者デヴィッド・ニューマンの考案により具現化された。

「ウエスト・サイド物語」の音楽に携わることができるのは、私にとって常に至福の喜びである。何度聴いても〈マンボ〉はスリリングとしか言いようがないし、〈サムホエア〉には我を忘れて聴き入ってしまう。



これほどまで精巧に創作された100分もの映画音楽を再構築する仕事は、何年もの月日を要する極めて貴重な挑戦であったが、完成された時の達成感という言葉では言い表せないほどだった。本コンサート用の新スコアの完成を祝福してくれたシド・ラミン、新スコアの音楽制作にあたって素晴らしい仕事してくれたピーター・ウエスト、スコアの照合作業に心血を注いでくれたトム・フーパー、そしてこの偉大なる映画音楽の再構築に際して直面した数々の難題を受け、惜しめない助言とサポートをくれたデヴィッド・ニューマンに心からの感謝を捧げる。



West Side Story ©1961 Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc.  
All Rights Reserved. ©A.M.P.A.S.

# 名作映画を生演奏で！

## 今、シネオオーケストラ = “シネオケ®”が熱い！

### 🎬「シネオケ」ってなに！？

映画音楽だけをオーケストラで演奏するコンサートと大きく異なるのは、その映画そのものが500～600インチ程度の大画面で上映されるということ。多くの「シネオケ®」では、オーケストラは舞台上で演奏し、そのバックに映画館さながらのスクリーンが設置されます。スクリーンには映像だけが流れ、セリフ以外の音楽がオーケストラで演奏されるため、観客は映画全編を楽しみながら、映画館以上の臨場感を体感できます。上演作品には「名画」と呼ばれるものが多いのも特徴。これまで何度もDVDで鑑賞してきた映画がライブになることで、新たな感動、発見が生まれるのです。

### 🎬どんな作品が上演されているの！？

もともと欧米では80年代から取り組まれていましたが、日本で映画全編を生演奏つきで初めて上映したのが、2012年「ウエスト・サイド物語」。指揮を務めた佐渡裕氏は、「ウエスト・サイド物語 シネマティック・フルオーケストラ・コンサート」のLAでの初演指揮者デヴィッド・ニューマンのアメリカ、ロサンゼルススタジオに事前に訪問。デヴィッドはこのコンサートのオーケストラ譜面に合わせたクリックシステム、ストリーマーを構築した本人なので、どのように映画の歌や効果音にオーケストラ演奏を合わせていくのか、直接打ち合わせも持つほど難儀なことでした。「ウエスト・サイド物語」においては、譜面と練習用のモニターは指揮者に半年近く前から送付され、各自で読み解き練習したそうです。「ウエスト・サイド物語」以降多くの作品が上演され、その文化の定着が伺えます。

#### <<これまで以上に上演された主な「シネオケ®」>>

2012年	スター・ウォーズ シリーズ/ウエスト・サイド物語
2013年	カサブランカ/サイコ/雨に唄えば
2014年	ピクサーシリーズ
2015年	ゴジラ/ディズニー・ファンタジア/アリス・イン・ワンダーランド/ ナイトメアー・ビフォア・クリスマス/バック・トゥ・ザ・フューチャー 2001年宇宙の旅/サンダーバード
2016年	ピクサーシリーズ (再演) /タイタニック ディズニー・ファンタジア (再演) /E.T./インディ・ジョーンズ/ ハリー・ポッターと賢者の石
2017年	エマワトソン主演「美女と野獣」 パイレーツ・オブ・カリビアン/呪われた海賊たち ハリー・ポッターと秘密の部屋/砂の器/LA LA LAND スター・ウォーズ/フォースの覚醒/ゴジラ (再演) /アマデウス 君の名は。/ラブ・アクチュアリー
2018年 (予定)	リトル・マーメイド/角川映画「犬神家の一族」「人間の証明」「野生の証明」 砂の器 (再演) /007 カジノ・ロワイヤル/ LA LA LAND (再演) ウエスト・サイド物語 (再演)
日本未上演の主な作品	アーティスト/オズの魔法使い/グラディエーター/猿の惑星 ティファニーで朝食を/ホーム・アローン/マトリックス/モダン・タイムズ 他

### 🎬普通のオーケストラ演奏とは違うの？

シネオケを上演する際に、大変なのは映像に音楽を合わせる作業だと言います。まず映画の中からオーケストラの音のみを抜き出す作業から始まり(最近の映画だとトラックが最初から分かれているので必要なし)、譜面起こし、オーケストラの構成、指揮者の選定など。多くの指揮者は手元に映像の流れたタブレットを設置し、指揮をとります。演奏者たちは画面を覗ずに演奏するため指揮者のタクトに合わせて、映像にぴったり合わせた演奏が必要となってきます。

映画そのものに熱狂的なファンが多く、映画のキャラクターになりきったコスプレで来場する人も多い「シネオケ®」今、最も注目のエンターテインメントです！

「シネオケ(R)」は、株式会社ヨードー東京の商標です